

議会だより

令和2年3月議会

# まじよう

No. 128

発行所:宮崎県木城町議会

発行日:令和2年4月20日

印刷:株式会社 宮崎新生社印刷

未来に向けて  
がんばろう

◆定例会報告	2
◆議会活動報告	7
◆まちの話題	11

## 木城小学校卒業式



## 木城中学校卒業式





# 令和2年度 一般会計予算決まる。 43億8500万円

[対前年度 5億300万円 増]

※令和元年度は、4月に統一地方選挙が行われた関係で骨格予算でした。

## 令和2年第1回木城町議会定例会報告

区分構成比	歳入予算額	前年度比
自主財源 73.3%	町税	23億1086万円 94.9% (▲1億2387万円)
	寄付金	4億8000万円 234.9% (2億7570万円)
	使用料及び手数料	6517万円 100.4% (28万円)
	繰越金	5000万円 100.0% (0万円)
	分担金及び負担金	2493万円 45.7% (▲2956万円)
	繰入金	2億2216万円 200.4% (1億1128万円)
	諸収入外	6204万円 94.3% (▲358万円)
依存財源 26.7%	地方交付税(特別)・その他交付金	3億1880万円 126.9% (6756万円)
	国・県支出金	6億9104万円 107.0% (4519万円)
	町債	1億6000万円 —% (1億6000万円)
<b>総 額</b>	<b>43億8500万円</b>	<b>113.0%</b> (5億300万円)

※ 各予算額は総額に合わせて、端数調整しています。

第1回議会定例会が3月6日から3月12日までの7日間の会期で行われました。令和2年度一般会計予算・特別会計予算など24議案と諮問1件を全員賛成で可決しました。

### 令和2年度一般会計予算の概要

#### 〔歳入〕











令和2年度一般会計予算額は43億8500万円です。昨年度の統一地方選挙に伴う骨格予算と比べ13%増となりました。

歳入の自主財源の割合は全体の73.3%を占めています。その中で一番予算額の大きな割合を占める町税は、軽自動車税及び町たばこ税が増加したものの、大規模償却資産税の減少により固定資産税が約1億2273万円減り、約5.1%の減となりました。

その他としては、ふるさと納税に係る寄付金が前年度の2億430万円から4億8000万円となり134.9%の増、分担金及び負担金が、令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化により54.3%の減となりました。

また、義務教育学校校舎建設実施設計等に充てるため、過疎対策事業債1億6000万円を借り入れます。

令和2年度 一般会計予算 歳出内訳(※数字は予算額、前年度比。単位は端数調整。)

<p>議会費</p>  <p>7473万円 98.6%(▲103万円)</p>	<p>総務費</p>  <p>10億9882万円 141.0%(3億1954万円)</p>	<p>民生費</p>  <p>12億4690万円 94.3%(▲7522万円)</p>	<p>衛生費</p>  <p>4億580万円 105.6%(2165万円)</p>
<p>農林水産業費</p>  <p>3億9141万円 131.2%(9308万円)</p>	<p>商工費</p>  <p>1億8447万円 96.9%(▲596万円)</p>	<p>土木費</p>  <p>1億6111万円 107.9%(1183万円)</p>	<p>消防費</p>  <p>1億6383万円 100.3%(53万円)</p>
<p>教育費</p>  <p>4億1991万円 142.1%(1億2451万円)</p>	<p>災害復旧費</p>  <p>1739万円 98.2%(▲33万円)</p>	<p>公債費</p>  <p>2億1561万円 107.0%(1413万円)</p>	<p>予備費</p>  <p>502万円 105.9%(28万円)</p>

令和2年度 特別会計予算(※千円単位は端数調整。)

会計名	予算額	前年度比
国民健康保険事業	7億円	97.2% (▲2000万円)
簡易水道事業	2億1500万円	135.2% (5600万円)
下水道事業	1億9000万円	98.4% (▲300万円)
介護保険	7億3800万円	100.1% (100万円)
後期高齢者医療	7800万円	106.8% (500万円)
<b>合 計</b>	<b>19億2100万円</b>	<b>101.7% (3900万円)</b>

■特別会計予算

(国民健康保険事業)

主な歳入は国民健康保険税1億2732万円、県補助金4億8429万円、一般会計繰入金7554万円。歳出は一般被保険者療養給付費3億9600万円、県に収める納付金1億2856万円。

(簡易水道事業)

主な歳入は使用料7886万円、一般会計繰入金2512万円、水道施設債1億円。歳出は配水管布設替工事3588万円、岸立水源地制御盤更新工事7112万円。

(下水道事業)

主な歳入は料金改定に伴う使用料3771万円、昨年度比572万円の増、一般会計及び基金繰入金1億4582万円。歳出は長期借入償還金8775万円、借入金償還利子が2615万円。

(介護保険)

主な歳入は介護保険料1億309万円、国県支出金及び支払基金交付金4億7049万円、一般会計及び基金繰入金1億5133万円。歳出は介護予防に重点をおき認知症予防対策等が図られます。



## 予算審査特別委員会審査報告

令和2年度当初予算を議員全員による予算審査特別委員会を設置し審査しました。

主なものは次のとおりです。

### 一般会計

**問** 防災士の資格取得を推進しているが、組織化する考えは。

**答** 総務財政課

今のところ組織化は検討していない。防災士ネットワークの話聞き、防災士を活用する対策を検討していきたい。

**問** 自家用飲料水施設設置事業補助金とあるが、自己負担はあのか。

**答** 町民課

千円未満の端数は切り捨てるが、200万円以内であれば、全額補助。

**問** ここにこへルスアツプ教室の参加者数。また、その成果は。

**答** 町民課

年間千人前後。医療費等も下がっている。

**問** 地域おこし協力隊員の役割は。

**答** 産業振興課

荒廃地等で有機農業の実践をしながら勉強していただき、有機農業を推進する役割で考えている。

**問** 小型農業機械導入支援事業補助金について。

**答** 産業振興課

令和元年度で終了(3年間)予定だったが、農家アンケートの結果、続けてほしいという意向がありましたので延長したい。

**問** 森林環境譲与税の使途は。

**答** 産業振興課

森林経営管理制度に伴う森林整備意向調査を広範囲で行う。

**問** 木城町PR事業食糧費とは。

**答** まちづくり推進課

首都圏で移住定住や物産観光といったPR事業を開催し、町内の食材を食していただく。ふるさと納税の伸びもこのようなPR活動も要因だと思う。

**問** 小規模企業者経営支援は。まちづくり推進課

設備投資に係る補助事業を3年間実施してきた。運転資金等の借入についての無利子事業は継続して実施していく。



予算審査特別委員会の様子

**問** 夢先生プロジェクトとは。教育課

日本サッカー協会が実施している事業で、元有名プロスポーツ選手を講師に招き、実体験等の講話や体験ゲームを通じて夢に向けての気持ちの持ち方などを説いてもらう。子ども達の夢に対して一人一人直筆でメッセージも返してくれる。小学5年生を対象としていたが、新規で中学2年生も対象としたい。

**問** 介護予防生活支援事業のなかで九州保健福祉大学や鹿屋体

育大学の連携事業があるが、継続性や成果がみえているのか。

**答** 福祉保健課

高齢者の移動に対する提言等といった目的を達成できたと思う。今後は、地域住民を取り込んで福祉に関する地域づくりに取り組んでいきたい。各種調査に携わった高齢者の方も、学生との交流機会を楽しみにされており、双方が利点を求めるところでは繋がっている。

**問** 地域ふれあい館「輝らら」の利用状況は。

**答** 福祉保健課

登録者で70名。当初予定を遥かに上回っているため、理学療法士か作業療法士を1名追加配置し受け入れ体制の柔軟性を図りたい。

**問** 世代間交流福祉館「かしのみ」の今後の運営方法は。

**答** 福祉保健課

ボランティアの育成を含め、今後の在り方についての方向性を協議したい。

**国民健康保険事業特別会計**

**問** 特定健診の受診率は。また、受けた人と受けていない人の罹患率は。

**答** 町民課

昨年度並みの51%前後。医療分析事業によると、受けていない人の医療費が高くなっているため、受診勧奨を行う。

**簡易水道事業特別会計**

**問** 第2水源地とは。

**答** 環境整備課

地震等の災害により、高城橋、比木橋に被害があり、大字椎木地区が断水した場合の非常用で計画している。

**下水道事業特別会計**

**問** マンホールポンプ取替修繕料が増額となっているがその理由は。

**答** 環境整備課

町内にマンホールポンプが20ヶ所あり、平成20年度から設置しており耐用年数をむかえるので更新する。

**他に指定管理者の今後の運営の在り方について協議しました。**

# 令和2年度一般会計予算 教育費関係抜粋

【木城の明日を担う心豊かでたくましい人づくり】（※千円以下切り捨て）

## 学校施設整備費委託料 【1億371万円】

令和5年度開校予定の義務教育学校校舎建設に伴う実施設計及び地質調査にかかる委託料です。



## 学校給食補助金 【2374万円】

令和2年度より、学校給食費に対する補助金が全額補助となります。

小学校：4,200円／人・月

中学校：4,700円／人・月



## 外国語指導助手派遣業務手数料 【504万円】

新しい小学校学習指導要領に伴い、令和2年度より小学校3年生から外国語活動が全面実施されます。

外国語指導助手が派遣されることにより、質の高い英語教育が行われます。



## 木城中学生海外派遣事業補助金 【252万円】

木城中学校1・2年生を対象に、台湾の台北市周辺に生徒を派遣し、文化や歴史を学びます。各学年8名を予定。





全員賛成で可決した議案等

木城町こども未来基金条例の制定について
令和元年度木城町一般会計補正予算（第8号）
令和元年度木城町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）
令和元年度木城町簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）
令和元年度木城町下水道事業特別会計補正予算（第3号）
令和元年度木城町介護保険特別会計補正予算（第4号）
令和元年度木城町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
民法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
木城町空家等対策の推進に関する条例の制定について
木城町防災会議条例の一部を改正する条例の制定について
木城町消防団条例の一部を改正する条例の制定について
令和2年度木城町一般会計予算
令和2年度木城町国民健康保険事業特別会計予算
令和2年度木城町簡易水道事業特別会計予算
令和2年度木城町下水道事業特別会計予算
令和2年度木城町介護保険特別会計予算
令和2年度木城町後期高齢者医療特別会計予算
木城町過疎地域自立促進計画の変更について
土地改良事業計画の変更について
権利の放棄について
木城町監査委員条例の一部を改正する条例の制定について
人権擁護委員候補者の推薦について
専決処分の承認を求めるについて（令和元年度木城町一般会計補正予算 第9号）
副町長の選任について

産業文教常任委員会の意見

議案第21号「権利の放棄について」次の意見が付されました。

【一ツ瀬川土地改良事業については、基準面積の設定や、これまでの経緯から、当初の事業計画に無理があったものと推察される。また、事業開始から今まで、農業を取り巻く環境の変

化や農業情勢により、未施工地区の解消は停滞したと考えられる。しかしながら、老朽化した施設をそのまま放置することは一ツ瀬川土地改良区の受益者に不安を与えると共に公益的機能にも大きな不利益を生じる恐れがある。早急な改善が求められる。したがって権利の放棄によつての利益を優先すること

と化や農業情勢により、未施工地区の解消は停滞したと考えられる。念ずることについては、実施事業体とそれを指導・監督する町は、真摯に受け止め、今後の事業推進に当たっていただきたい。】

※権利の放棄・国営一ツ瀬川土地改良事業受益者負担償還金貸付金約3億1887万円のうち、本町分約3367万円に係る請求権を放棄するもの。

一般質問の取り止め

4名の議員による一般質問については、宮崎県内でのコロナウイルス感染症の発生を受け、感染予防に配慮し取り止めることにしました。あわせて、今後の状況等を考慮し、会期日程の短縮も図りました。

新規条例について

・木城町こども未来基金条例  
未来を担う子どもたちの健やかな成長を目的に子育て、教育、福祉事業に活用する基金です。  
・木城町空家等対策の推進に関する条例

空家等の適正な管理事項を定め、町民等の生命財産を保護し、併せて空家の活用を促進します。

副町長の選任について【同意】



島田 浩二 氏

任期は、令和2年4月1日から令和6年3月31日までの4年間。  
(県職員から 52歳)

人権擁護委員候補者の推薦について【適任】



かねなが 俊一 氏

任期は令和2年7月1日から3年間で、法務大臣から委嘱されます。

# 議会活動報告

1月

1日  
木城町成人式 (全議員)

6日

令和2年木城町役場仕事始め式 (議長)  
議会広報編集特別委員会 (議長)  
議会全員協議会 (議長)  
令和2年新年賀詞交換会 (全議員)

10日

議会広報編集特別委員会 (議長)  
令和2年川南町消防始式 (議長)

12日

令和2年木城町消防始式 (全議員)  
第10回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会開会式 (議長)

13日

第10回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会 (議長)

14日

議会広報編集特別委員会 (議長)

17日

令和2年新田原基地賀詞交歓会 (議長)

21日

児湯郡(市)町村議会議長会議員研修会 (全議員)



児湯郡(市)町村議会議長会 議員研修会(木城町)

22日

市町村議会議員研修会 (久保議員・桑原議員)

26日

第48回木城町新春ジョギング大会 (議長)

27日

議会運営委員会 (議長)

28日

宮崎県森林・林業活性化議員連盟連絡会議研修会 (議長)  
産業文教常任正副委員長 (議長)

30日

令和元年度市町村長トップセミナー (久保議員)  
高鍋・木城衛生組合議会例月出納監査 (議選監査)

宮崎県町村議会議長会議員研修会 (全議員)



宮崎県町村議会議長会 議員研修会(門川町)

31日

航空自衛隊新田原基地周辺協議会 (議長)

2月

3日

議会全員協議会 (議長)

7日

児湯郡(市)町村議会議長会定例会 (議長)

12日

駐福岡大韓民国総領事懇談会、九州地方整備局他表敬訪問 (議長)

17日

西都児湯森林・林業・林産業活性化議員連盟連絡会議研修会 (議長)

産業文教常任正副委員長 (議長)

18日

宮崎県町村議会議長会第71回定期総会 (議長)

19日

西都児湯環境整備事務組合議会定例会 (議長・総務常任委員長)

20日

一ツ瀬川営農飲雑用水広域水道企業団議会定例会 (議長)

21日

木城町民生委員児童委員議会意見交換会 (全議員)

21日

高鍋・木城衛生組合議会定例会 (副議長・総務常任委員長・議選監査)

27日

宮崎県東児湯消防組合議会定例会 (議長・総務常任委員長)

27日

九州オルレ「宮崎・小丸川コース」認定祝賀会 (正副議長・産業文教常任委員長)

27日

川南・木城両町議会合同協議会 (全議員)

28日

全国町村議会議長会他郡内視察対応 (議長)

3月

2日

議会運営委員会  
議会全員協議会

6日

第1回木城町議会定例会

16日

議会広報編集特別委員会

27日

議会広報編集特別委員会

※保育園の卒園式、小学校、中学校の卒業式については、新型コロナウイルス感染症予防対策により、来賓なしで執り行われました。



川南・木城両町議会合同協議会(木城町)



## 総務常任委員会 所管事務調査

### ■期日

令和元年11月20日（水）～  
11月21日（木）

### ■研修先

富山県立山町、富山県砺波市

### ■参加者

眞鍋博委員長、森伸夫副委員長、後藤和実委員、神田直人委員、内野宮克俊議事調査係長

### ■研修目的

全国で唯一、民生委員児童委員の定数充足率100%を達成している富山県において、民生委員児童委員のなり手不足の解消策について調査。

### 【立山町】

人口…約2万6000人  
民生委員児童委員数…78名  
(うち主任児童委員数3名)

### 【砺波市】

人口…約4万6000人  
民生委員児童委員数…104名  
(うち主任児童委員数12名)

### ■考察まとめ

富山県は、自治振興会の母体がしっかりとした地域が多く、各地区で必ず民生委員児童委員が選出され、立山町においては委員の負担軽減と地域福祉の担い手育成を目的に、各地区に高齢福祉推進委員が委嘱され、新任や若い世代の委員も地域や民生委員児童委員協議会並びに行政のサポートが充実しているため、活動しやすい環境となっている。また、民生委員児童委員の活動自体に歴史が有り大変活発であると感じました。



立山町 研修の様子

また、「立山町元気交流ステーション」は、保健福祉機能を集約し、健康福祉課・保健センター・社会福祉協議会など保健

## 議会活動報告

福祉の総合的な相談機能の充実を図るとともに、図書館・会議室など交流スペースもあり暮らしに役立つ公共施設と駅が一体となった魅力的な複合拠点施設となっていました。



立山町 元気交流ステーション【みらいぶ】

民生委員児童委員協議会事務局を行政の福祉関係課に置き、他の福祉関係機関との連携をスムーズに行う観点からも考慮すべきところがあります。

民生委員児童委員の推薦方法については、「その地区の事はその地区の人が」一番よくわかっているため、自治会（地区）による推薦がベストだと感じました。

全国的に幼児虐待から高齢者の安否確認まで自治体から期待される職務範囲も広がり、加え

て住民の意識変化により地域活動への参加が消極的となり、その影響で民生委員児童委員を推薦する事が出来る自治体も減少しているのが現状です。



砺波市 研修の様子

本町でも、今後の自治体の在り方と存続に向けての取組などが、民生委員児童委員の後継者不足や今後の活動に影響を与えると考えます。こうした状況に対応するため、選考基準の緩和や民生委員児童委員と同様に社会的奉仕者として無報酬で活躍されている人権擁護委員や保護

司などを含め、社会として必要な活動を行う方々に特別職の公務員として、一定の身分保障を行うなど、制度そのものの在り方の再検討を行う事も重要だと考えます。

## 産業文教常任委員会 所管事務調査

### ■日時

令和元年12月17日（火）～  
12月18日（水）

### ■研修先

鳥取県智頭町、鳥取県八頭町

### ■参加者

黒木泰三委員長、桑原勝広副委員長、久保富士子委員、中武良雄委員、甲斐政治委員、橋本正枝主査

### ■研修目的

町づくり人づくりの先進地事例調査

### 【智頭町】

人口…約7000人  
面積…224.7km<sup>2</sup>  
高齢化率…40.4%

### 【八頭町】

人口…約1万7000人  
面積…206.71km<sup>2</sup>  
高齢化率…32.0%

本町の高齢化率…37.26%  
(令和2年2月末現在)



## ■考察まとめ

今回の研修は町づくり人づくりについて、官民共同での取り組みを行っている2町の課題解決に向けた政策を学び、今後、木城町において取り組みむべき政策を考えるのが目的でした。両町とも人口減少・少子高齢化にもかかわらず、将来をしっかりと見据えた取り組みが成されており、行政側の仕掛けと町民の考えがマッチングして、何事も行政任せにはせず、自分たちの町は自分たちが参加して作っていくという真剣さ、やる気と情熱が感じられる町であり、行政側の後方支援もきめ細かくしっかりと組み込まれており、現在も相乗効果で新しい発展が生まれていることに本町との違いを感じました。



智頭町 研修の様子

本町でも問題になっていく地域コミュニティの衰退について、智頭町では閉鎖的、保守的、依存的な旧態依然とした村社会の変革を図るため「町の活性化には集落の活性化から」という視点に立ち、段階を経て「百人委員会」を設置。住民自らが町の課題を議論、提案内容を決定し、企画書・予算案を作成、年度予算公開ヒアリングで町長等と予算交渉を行い、議会審議を経て議決されれば、住民が中心となって事業を開始することが出来る仕組みが出来上がっており、本町でもこのような取り組みを行うべきであり、町民一人ひとりが声をあげる機会に積極的に参加する仕組みをつくる必要があるのではないかと考えます。



智頭町 大河原議長

八頭町では「出る杭は伸ばす」、「新しい芽を育てる」をコンセプトに、基本戦略の「働く場」を生み出すため、空き施設を利用し、IT関連企業等と連携し、地域の特性を新しい価値へ想像・変革することで中山間地域特有の課題を解決し、地域住民とUターンしてきた若者の目線で地域課題をイノベーションしており、新しい事業や取り組みが生まれています。



八頭町 \*準Lab.

**\*準Lab.**  
地域や企業、行政が一体となり地域課題の解決や新たな産業・雇用を創出する場。移住定住センターも設置。



八頭町 研修の様子

本町も町民の声を聞き、政策に活かすシステムを構築していただき、町民も要望ばかりではなく、自らが活動に加わり、出来ることは自分たちで行うことも必要ではないでしょうか。行政が「聞く耳」を持ち、その真剣さが、町民に伝われば、町民も真剣に住民自治に取り組み、町も活性化し、より良い町づくり人づくりが出来るのではないかと考えます。八頭町で最も注目したのは、地域おこし協力隊の活動で現在7名が定住しており、町の起業支援補助金等の支援を受けて農業や加工食品製造、カフェ経営などを行い、集落の活性化へしっかりと繋がっていることです。本町でも定住に繋がるような総合的支援をお願いしたいものです。

また、両町とも豊かな森林資源を活かした事業にも力を入れていました。本町にも他市町村を凌ぐ観光資源があります。松尾ダム周辺の照葉樹林や白木八重牧場周辺は森林セラピーに、九州電力揚水発電所の上ダムまでの道を自転車ロードレースなどイベントにと活用方法はいくらでも考えられ、本町の財産でもある豊かな資源を活用し、未来へと繋がるような政策も必要ではないかと考えます。ただ「視察研修に行ってきた」では終わらせず、この研修で調査し、学んだことを糧とし今後の政策に活かせるよう議員全員で取り組んで行きたいと思えます。

## 議長交際費の報告

令和元年度

48,200円

研修先への謝礼品等

## 木城町民生委員児童委員協議会との意見交換会

■期日

令和2年2月20日（木）

■場所

福祉保健センター研修室

■出席者

民生委員児童委員協議会15名

総務常任委員会の富山県での民生委員に係る所管事務調査の報告を行い、本町における民生委員の活動状況や要望等について意見交換を行いました。



意見交換会の様子

議会・行政へのお願い

※一部抜粋

◎民生委員がより手厚い保護ができるよう、サポーター制度を考えていただきたい。

○包括支援センターの相談協力員制度を新たに設けた。民生委員のサポートができると思う。

◎多種・多様化する諸問題等に対応するため、民生委員の定数を1人でも増やしていただきたい。

○次期改選時には、世帯数等を考慮し、定数枠を検討したい。

◎高齢者の1人暮らし、認知症の方が増えているなかで、成年後見人制度の活用を。

○法人後見受任に関しては、児湯郡5町1村で広域法人センターの設置を検討している。相談窓口が広がるものと考え

## 民生委員・児童委員とは…

地域住民の立場にたって、地域の福祉を担うボランティアです。

民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。また、民生委員は児童福祉法に定める児童委員を兼ねています。給与の支給はなく、ボランティアとして活動しています。任期は3年です。

人格識見高く、広く社会の実情に通じ、社会福祉の増進に熱意のある方々です。

## 民生委員・児童委員は…

地域を見守り、地域住民の身近な相談相手、専門機関へのつなぎ役です。

自らも地域住民の一員として、担当の区域において高齢者や障がいのある方の安否確認や見守り、子どもたちへの声かけなどを行っています。医療や介護の悩み、妊娠や子育ての不安、失業や経済的困窮による生活上の心配ごとなど、さまざまな相談に応じます。相談内容に応じて必要な支援が受けられるよう、地域の専門機関とのつなぎ役になります。

## 主任児童委員とは…

子どもや子育てに関する支援を専門に担当する民生委員・児童委員です。

主任児童委員は、子どもや子育てに関する支援を専門に担当する民生委員・児童委員です。担当区域をもたず、民生委員・児童委員と連携しながら子育ての支援や児童健全育成活動などに取り組んでいます。





# まちの話題

## TOWN TOPICS



令和2年度の木城町観光協会メンバーです。左から佐藤さん（新規採用）、神田さん、中村さん

さとう ふみこ  
佐藤 文彦さん

今年の4月から観光協会でお世話になります。町民の皆様には早く顔を覚えてもらえる様に頑張りたいと思います。

かんだ けんゆう  
神田 憲裕さん

今年の6月まで観光協会勤務します。これまで町民の皆様には本当にお世話になりました。残り短いですが精一杯頑張ります。

なかむら ゆり  
中村 裕里さん

2年目になりました。今年は新型コロナの影響でイベント等に不安がありますができる限り木城町を盛り上げていきたいと思っています。

## 議会傍聴をしてみませんか？

次の定例議会は**6月**です。定例会の日程、傍聴などについてのお問い合わせは、議会事務局までお尋ねください。

**TEL 0983-32-2213** (直通)

木城町ホームページに  
議会情報を掲載しています。

本会議情報や、議会のしくみ、会議録などをご覧いただけます。

(URL) <http://www.town.kijo.lg.jp>



議長  
神田 直人

発行責任者

委員  
黒木 泰三

委員  
久保富士子

副委員長  
森 伸夫

委員長  
中武 良雄

編集委員

## 議会傍聴メーター

2019年3月議会から  
議会傍聴に来られた人数です。

**102**



## めぼえ保育園卒園式



## どんぐり保育園卒園式

